

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-2
消防防災対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

医療政策課長 坂本偉健

電話番号

0852-22-6698

事務事業の名称	風水害震災時の医療体制整備	
目的	(1) 対象	災害医療関係機関
	(2) 意図	災害発生時に住民の生命への被害を最小限に抑えるため、迅速かつ的確な医療救護が行えるよう体制整備と連携強化を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における円滑かつ適切な医療救護活動を行うため、平時から緊密な連携体制を構築することを目的として、災害医療関係機関連絡会議を設置 超急性期の医療救護を担う災害派遣医療チーム（DMAT）の組織体制を整備するとともに、実動訓練の参加経費を補助するなど、活動を支援 救急部門に関わる医師等による災害医療に関する訓練や研修を実施することにより、士気向上や職場の魅力向上を図り、災害医療体制を維持・充実につなげる 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	災害派遣医療チーム（DMAT）の整備数	目標値		20.0	20.0	20.0	20.0	チーム
	取組目標値								
	式・定義	災害派遣医療チーム（DMAT）の整備数	実績値	17.0	18.0	20.0			
			達成率	-	90.0	100.0	-	-	%
2	指標名	災害拠点病院の耐震化率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	取組目標値								
	式・定義	災害拠点病院の耐震化率	実績値	80.0	80.0	90.0			
			達成率	-	80.0	90.0	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	8,744	12,507
うち一般財源 (千円)	7,812	10,307

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 11病院に計20チームの災害派遣医療チーム（DMAT）を整備している。
- 災害拠点病院を10施設指定しており、同病院は災害派遣医療チーム（DMAT）を持つことが要件とされている。
- 災害拠点病院10施設中9施設が耐震化を終えており、残る1施設も建替えにより平成32年度までに耐震化を終える予定。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- DMATが2チーム増加した。
- 病院等関係者を対象に災害時を想定した通信訓練を実施し、非常時における体制を確認した。
- 災害医療関係機関連絡会議を開催し、災害医療に係る課題を協議した。
- 7月4日に県西部で発生した豪雨災害への対応を通じ、災害時の対応を確認した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 病院職員でDMAT隊員資格を持つ者が少ない

②困っている状況が発生している「原因」

- DMAT養成研修は、都道府県毎に参加者数が決められており、希望者全員が参加できない。

③原因を解消するための「課題」

- DMAT隊員になるための養成研修の受講機会を増やすこと

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 希望する者全員が受講できるよう、DMAT養成研修の受講人数の拡大を国に要望する。
- 通信訓練等、島根県で主催することが可能な範囲の訓練を実施する。
- 知識及び経験を持つ者に委託して訓練等を実施することを検討する。
- 病院等が自主的に実施する訓練等に助言する。